

2020年3月期 決算概要



2020年5月

株式会社ビーアールホールディングス

主要数値の実績

2020年3月期は、売上高、親会社株主に帰属する当期純利益については過去最高を、売上総利益、営業利益及び経常利益については、上場来最高益を記録しました

百万円

	前期実績	当期計画	当期実績	前年増減額	計画増減額
受注高	36,032	36,500	32,699	▲3,333 (▲9.3%)	▲3,801 (▲10.4%)
手持高	50,744	53,200	48,325	▲2,419 (▲4.8%)	▲4,875 (▲9.2%)
売上高	27,333	34,000	34,775	+7,442 (+27.2%)	+775 (+2.3%)
売上総利益	3,645	4,000	4,471	+826 (+22.7%)	+471 (+11.8%)
営業利益	1,386	1,750	2,158	+772 (+55.7%)	+408 (+23.3%)
経常利益	1,415	1,700	2,097	+682 (+48.2%)	+397 (+23.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	741	1,050	1,348	+607 (+81.9%)	+298 (+28.4%)
1株当たり当期純利益(円)	18.94	26.72	34.45	+15.51	+7.73
ROE (%)	12.8	20.0	20.9	+8.1	+0.9

※売上高は2年連続の増収、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は2年ぶりの増益となりました。

今期決算のトピックス

●受注高の減少（対前年同期比▲3,333百万円）

当期の受注高につきましては、建設事業で中国自動車道の床版取替工事、阪神高速道路のP C桁等大規模修繕工事等の大型物件の受注等があったものの、期内契約予定の大型物件の価格決定が次期にずれ込み、前年同期比3,333百万円減の32,699百万円となりました。

●売上高の増加（対前年同期比+7,442百万円）

当期の売上高につきましては、建設事業で前年同期比6,306百万円増加の30,953百万円となりました。中でもNEXCO及びJRTT発注工事の進捗が進み、NEXCO発注工事の売上高は前年同期比6,291百万円増の8,366百万円、JRTT発注工事の売上高は、前年同期比2,686百万円増の6,902百万円となりました。

●当期純利益の増加（対前年同期比+607百万円）

親会社に帰属する当期純利益は対前年同期比607百万円増加の1,348百万円となりました。これは、NEXCO及びJRTT発注工事の進捗が進み売上高が増加したこと及び民間受注工事（下請工事）の採算性の良い一部工事の進捗が進んだ事によるものであります。NEXCO発注工事の粗利益では、前年同期比597百万円増加の713百万円、民間受注工事の粗利益では、前年同期比249百万円増加の1,026百万円、JRTT発注工事の粗利益では、前年同期比199百万円増加の542百万円となりました。

次期の業績予想及び配当

過去最高の売上高および当期純利益により5年連続増配を予定しています

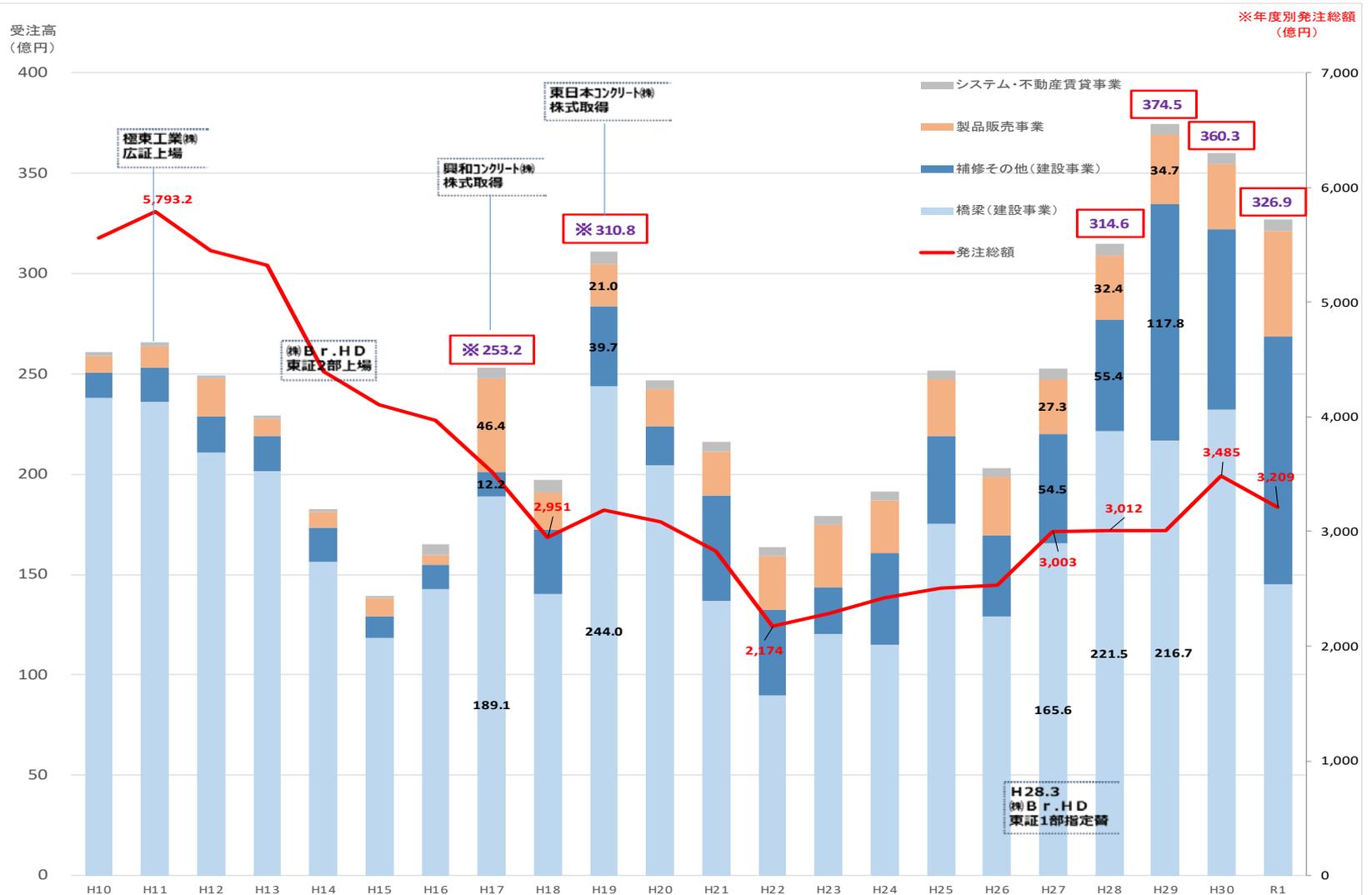
百万円

	2020.3期	2021.3期 予想	増減額	増減率 %
売上高	34,775	36,000	+1,225	+3.5%
売上総利益	4,471	4,650	+179	+4.0%
営業利益	2,158	2,250	+92	+4.2%
経常利益	2,097	2,150	+53	+2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,348	1,400	+52	+3.8%
1株当たり当期純利益（円）	34.45	35.76	+1.31	+3.8%

	2020.3期	前期比	2021.3期 予定	前期比
1株当たり年間配当金	9円 (中間4円)	+2円	10円 (中間5円)	+1円
連結配当性向	26.1%	▲10.9%	28.0%	+1.9%

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により現在の発注量は一時的に減少していますが、年間発注量は予定通りとなる見込みです。

年度別セグメント別受注実績・年度別発注額推移比較



※年度別発注総額は、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の調べによる統計値です
 ※H17年度の受注高には興和コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、興和コンクリート㈱の繰越高56億円が含まれております。
 ※H19年度の受注高には東日本コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、東日本コンクリート㈱の繰越高54億円が含まれております。

当期の主な受注工事

工事名称	契約先	セグメント
中国自動車道（特定更新等）赤山橋他4橋床版取替工事	西日本高速道路(株)中国支社	建設事業
P C桁等大規模修繕工事（2019-3-松）	阪神高速道路株式会社(株)	建設事業
関門自動車道（特定更新等）本町高架橋（上り線）床版取替工事	西日本高速道路(株)九州支社	建設事業
能越道 洲衛高架橋（下り）上部工事	北陸地方整備局	建設事業
相鉄・東急直通線、P Cまくらぎ調達	鉄道建設運輸機構 東京支社	製品
国道45号 浪板大橋上部工工事	東北地方整備局	建設事業
名神高速道路 小牧橋他5橋下部工耐震補強工事（平成29年度）	大日本土木(株)	建設事業
令和元年度県債社道復興12-23-002号（仮）風越3号橋上部工工事	宮城県	建設事業
宮沢根白石線（南鍛冶町工区）橋梁上部工工事その5	仙台市	建設事業
令和元年度県債復道1-26-006号（仮）雄勝2号橋上部工工事（その1）	宮城県	建設事業
北陸新幹線、福井開発高架橋の内PCaスラブ版製作工事	日本カイザー(株)	製品
佐波川陸美橋P C上部工事	中国地方整備局	建設事業
令和元年度県債復道1-7-005号 飯子浜橋梁上部工工事	宮城県	建設事業

セグメント別情報

建設事業

売上高(累計)

(単位：百万円)

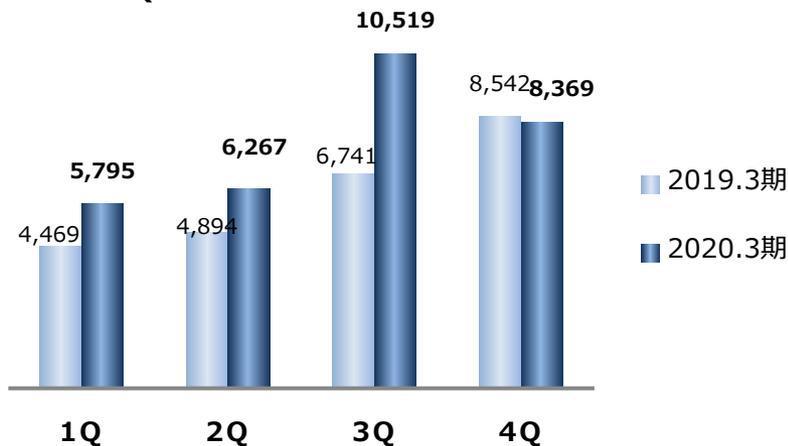


売上高 309億53百万円 (対前期比25.6%増)

- 手持工事の進捗率向上
- 追加・変更工事による増額契約

売上高(四半期別)

(単位：百万円)



売上高 対前年同期増減

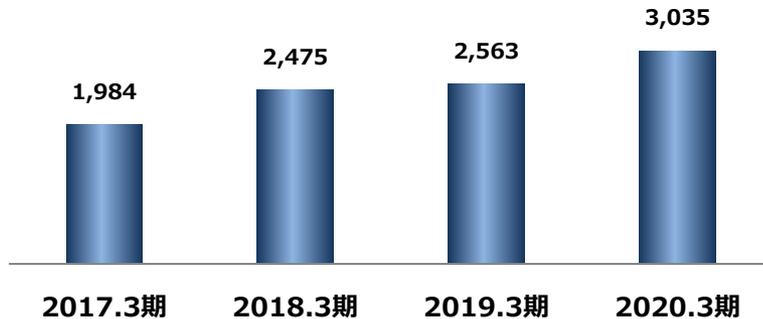
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019.3期	▲4.5%	▲4.8%	+58.2%	+43.7%	+23.0%
2020.3期	+29.7%	+28.1%	+56.1%	▲2.0%	+25.6%

セグメント別情報

建設事業

セグメント利益(累計)

(単位：百万円)

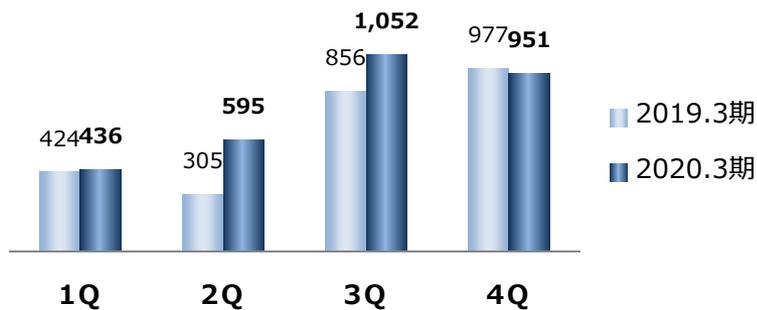


利益 30億35百万円 (対前期比18.4%増)

- 粗利益の増加
- 不採算工事の減少

セグメント利益(四半期別)

(単位：百万円)

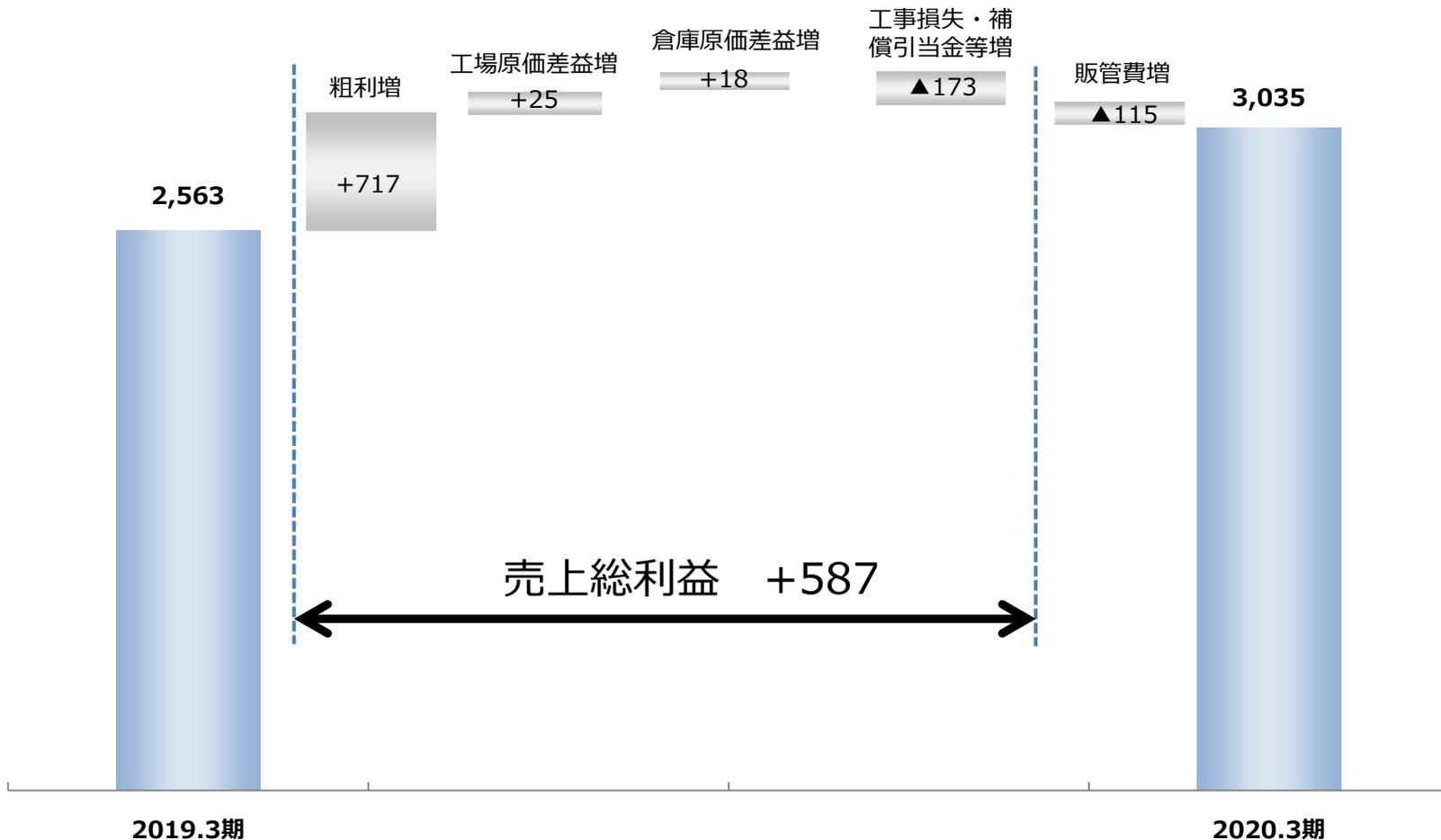


セグメント利益 対前年同期増減

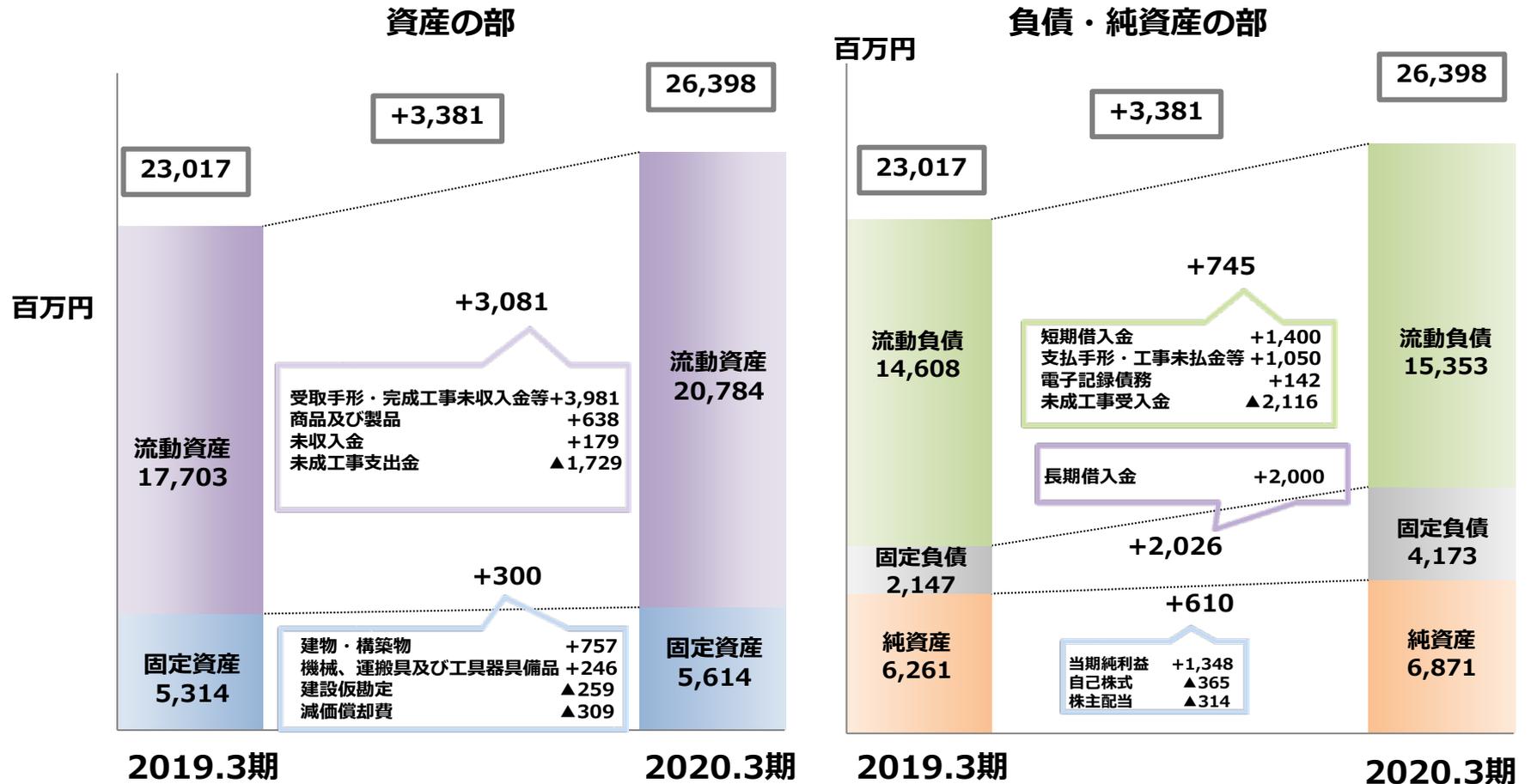
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019.3期	▲14.9%	▲54.7%	+47.8%	+35.3%	+3.6%
2020.3期	+2.8%	+94.6%	+22.9%	▲2.6%	+18.4%

セグメント利益増減 (前年同期差)

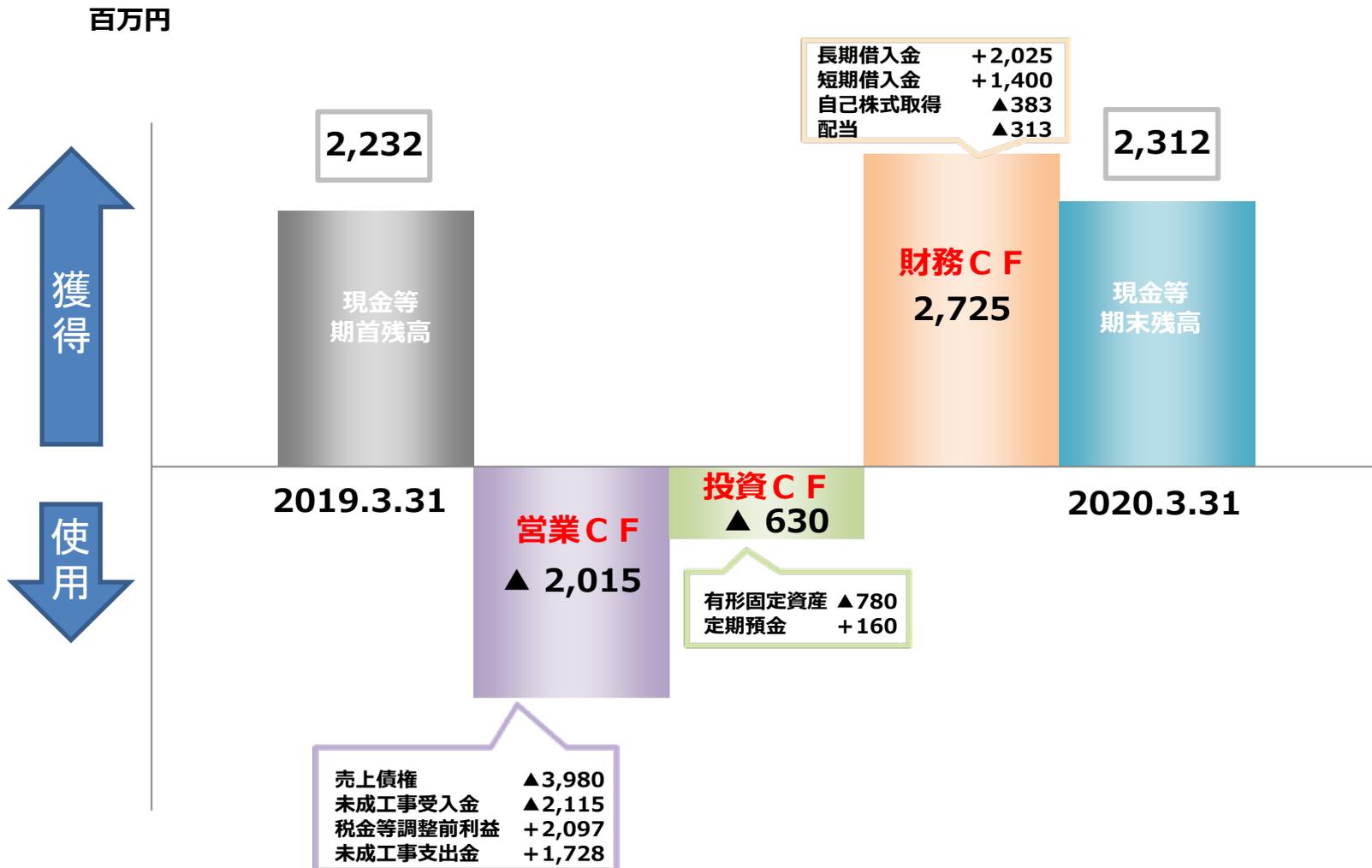
(単位：百万円)



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー



【参考】発注先別受注高、売上高、手持高（建設事業）

百万円

2019.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	粗利益※	粗利率 %	期末手持高
国交省	3,792	2,362	3,806	613	16.1	2,348
その他官公庁	10,421	7,160	9,541	1,775	18.6	8,040
NEXCO	11,172	15,334	2,075	116	5.6	24,431
JRTT	11,704	2,701	4,216	343	8.1	10,189
民間	3,840	4,675	5,009	777	15.5	3,506
計	40,929	32,232	24,647	3,624	14.7	48,514

2020.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	粗利益※	粗利率 %	期末手持高
国交省	2,348	4,321	3,552	538	15.1	3,117
その他官公庁	8,040	8,635	7,119	1,523	21.4	9,556
NEXCO	24,431	6,220	8,366	713	8.5	22,285
JRTT	10,189	2,611	6,902	542	7.9	5,898
民間	3,506	5,100	5,014	1,026	20.5	3,592
計	48,514	26,887	30,953	4,341	14.0	44,448

- ✓ NEXCO、JRTTの売上が大幅に増加したことにより売上高対前期比25.6%増、粗利益対前期比19.8%増
- ✓ 期首手持高48,514百万円は過去最高額

※粗利益には、過年度原価、工場、倉庫及び工事内勤者の共通原価は含めておりません。